

# GECI INTERNATIONAL社 会長兼CEO Serge BITBOUL氏より 航空情報へのスペシャルメッセージ

本誌2011年10月号で紹介した、GECI INTERNATIONAL社会長のSERGE BITBOUL氏より、編集部あてにメッセージが来ましたので紹介します。

日本の航空情報誌愛読者の皆様へ、再びご挨拶出来ますことを大変嬉しく思います。また、日本の皆様が昨年東日本大震災より復興を成し遂げつつある事に敬意を表します。

さて、当社が誇る旅客仕様では19人乗り、貨物仕様では2.7tのペイロードを有する高翼双発ターボプロップ機SK-105型の開発については、現在のところ順調に推移しています。初飛行に向けてのプロトタイプ4機の生産は既にフランス東部ロレーヌ地方の当社Chambly工場に於いて開始されており、初期生産分につきましては全て確定受注を頂いています。

先日もフランス海外県のオペレータであるCAIRE社より2機の旅客型SK-105型の注文を頂きました。現在ロシアのAVIAMOST社と40

機の確定発注と260機のオプション契約について最終的な交渉中です。AVIAMOST社では主にシベリア地域の路線でSK-105型を運航する計画です。それ以外にも既にインドネシアのPT Sky Aviation社、マレーシアのTrans Asia社、タイのKan Airlines社、UAE政府、アフリカ、中米等のオペレータより400機以上の受注または発注趣意書を頂いております。

さらに、アジア地域の機体販売後のサポート体制の充実を図るため、クアラルンプールにサポートセンターを開設致しました。

当社の長期計画に掲げる2030年迄に1,500機のSK-105型を販売する目標は十分に達成可能であると確信しております。その内訳としては、既存の同カテゴリー機の代替として、主に民間需要として約1,000機、新規の民間需要として約200機、軍関係並びにコストガード、警察関係等の官公庁需要として約300機を見込んでおります。

またSK-105型の発展型として、フロートを装備した水上機型の開

資料提供：第百商事



Serge BITBOUL氏

発もサプライヤーとの交渉には関わっています。

当社では、SK-105型が選ばれた理由を以下の通りに考えています。

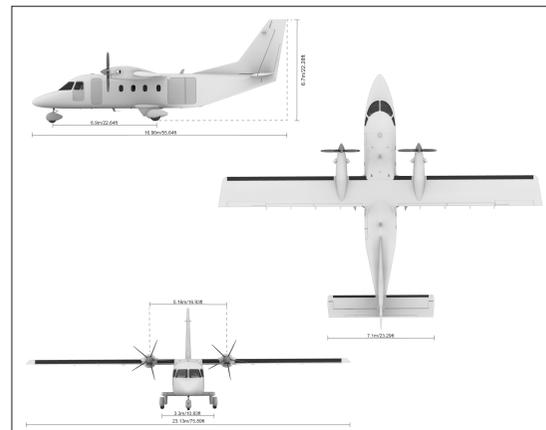
- 1: 同一カテゴリーでは最大のキャビン容積
- 2: 総アルミニウム構造による特に成形を伴う修理作業の容易さと短距離滑走路での優れた運用性
- 3: 機体に内蔵された乗客用ステップ
- 4: 実用的な冷暖房装置
- 5: 500kg/m<sup>2</sup>の荷重に耐えるフラットな床面



SK-105のグラスコックピット

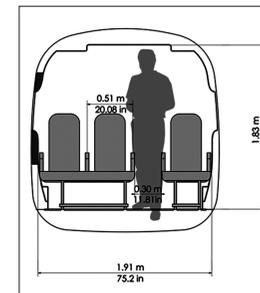


FAR/パート23の基準で、離陸滑走路長670m、着陸滑走路長694mのSTOL性



SK105の機体三面イラスト

- 7: 同一カテゴリーでは並外れた2.7tのペイロード
- 8: 信頼性の実証された装備品と世界有数の著名な納入業者
- 9: 広々とした28m<sup>2</sup>のキャビン
- 10: 19人乗り旅客仕様においても確保された5.3m<sup>2</sup>の手荷物室
- 11: 短時間で可能なターンアラウンド
- 12: 設計から生産までをフランス国内において一貫して行う体制
- 13: 3,300fpmの優れた上昇率
- 14: 同一カテゴリーでは並外れた長距離航続性能
- 15: 235ktsの最大巡航速度
- 16: 5か所のドアがもたらす利便性
- 17: 生産段階より徹底して施された防錆処理
- 18: 短距離滑走路での優れた離発着性能
- 19: 乗客12人乗り又は14人乗り仕様に柔軟に対応できる貨客型
- 20: 高地での優れた離発着性能
- 21: 低機体価格と低運航費用
- 22: 単純化された整備作業と修理作業の容易さ



SK-105の利点のひとつ1.83mキャビン室内高

現在GECI社では防衛ならびに警察関係向けではヨーロッパ最大のイベントであるEURO SATORYに向けて鋭意準備に取り組んでおりますが、これを機会にまたオーダーが増えることを期待しています。

また、当社のSK-105型と並ぶ主力プログラムであるF406型多用途小型低翼式双発ターボプロップ機（旅客型で12人乗り、貨物型で1.5tのペイロード）も、生産機数が100機を超えたことを、ここに報告させていただきます。

最後に当社と致しましたは、日本の市場を大変重要視しています。日本におけるSK-105型の総販売代理店である第百商事様へお気軽にお問合わせ頂ければ幸いです。

また、日本の皆様に航空情報の誌面にてお会い出来ることを楽しみにしています。

- 23: フロートを装備した水上機型のバリエーション
- 24: かさばるバラ荷も容易に収納出来るキャビンレイアウト
- 25: 大人が違和感なく歩ける1.83mのキャビン室内高
- 26: LD2コンテナ4基がそのまま搭載出来る後部カゴドアとローラーシステム
- 27: 最新の人間工学に基づいて設計されたコックピット

以上、まだまだSK-105型のアドバンテージの枚挙はいとまがありませんが、誌面の都合もあると思いますので、このくらいにさせていただきます。



キャビンレイアウトの1例